

# HSK こころから

62号

2018. 2

幸ちゃんは逝ってしまった

突然に

二十年を超える月日

「幸ちゃんだよ」と電話をかけてきた

あの声は

もう誰の耳にも届かない

八十歳を前にして

逝ってしまった幸ちゃん

幸せだったかい

きつと幸せだったよね

(二〇一八年一月十二日逝去—と冥福を)

葉

昭和48年1月13日第3種郵便物認可

HSK通巻番号551号

発行 2018年2月10日(毎月10日発行)

編集 住所：札幌市西区八軒8条東5丁目4-18

団体名：特定非営利活動法人(NPO)

精神障害者を支援する会

TEL：(011) 736-1697

発行人 北海道障害者団体定期刊行物協会(HSK)

定価 50円(会費に含む)





# 新年のご挨拶

支援する会理事長 三浦 誠一

新年明けましておめでとうございます。

昨年は「海水浴」も行い、きょうされん全国大会をみんなの力で成功させることができ、充実した1年となりました。良かったですね。

ところが、年末の2018年度予算編成で大変なことになりました。社会保障費が自然増を1340億円も圧縮し、ミサイル防衛と称して「陸上イージス」を2基・2000億円導入を決めました。正に「福祉削って軍備拡大」の様相。これは大変です。軍事攻撃の標的になることは必至です。みんなで闘いましょう。

更に、生活保護の削減が決められました。生活扶助費180億円(最高-13.7%)、母子加算20億円(平均-2割)の削減です。収入が最下層の1000人の人達との比較で、「保護基準の方が高い」という理由によります。生活保護は、約1000人の生活保護基準以下でくらしている人達の内、約15%しか利用していません。保護基準が高く出るのは当然です。最下層の人達のくらしを良くする施策をとるのが政府の仕事です。それを放置しておいて、保護基準の方が高いと言うことになると、次回も引き下げになるのは明らかです。「格差と貧困」の負の連鎖が永遠に続くこととなります。闘い続けて必ず阻止しましょう。

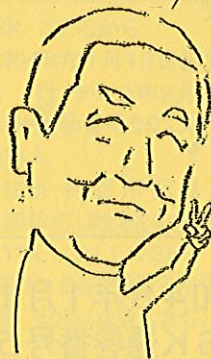
## 新しい仲間の紹介

ありくし かあひて  
有櫛和人さん

9月16日に来ました。だいぶここにも慣れてきて、余裕もできました。12月31日の年越し会に参加できてよかったです。

これからよろしくお願ひします。

## スタッフを紹介します!



黒田吉彦です

私は「グループ

ホームひなた」に来て三カ月に入りました。五人分の食事を作っています。以前は茶懐石の調理場で働いていました。私が帰る時「明日は何？」と聞いてくれます。今までの調理生活でこんな事があったらどうか?作る喜び、六十四才で知る。



昨年せんねんの12月に引越してダ  
リアの近くちかくに来ました。引越し  
の片づけや手続きてつぎをスタッフ  
の皆さんみなさんに手伝って頂き、あり  
がとうございました。自分で生  
活する事ができるよう努力なつりし  
たいです。 白山志津恵

健康でHAPPYで働きたいで  
す。デイケアでは、カラオケや  
ゲームをして楽しみたいです。

去年は入院にゅういんしていたので、  
海水浴かいすいよくに行けませんでした。今  
年は行きたいです。

永沼松勇

「みんなの声コー  
ナー」では、絵や写  
真、詩など、みなさ  
んの投稿をお待ち  
しております！

68才になりました。「新・人間  
裁判」の原告としての活動をライ  
フワークにしながら、安倍政権下  
の『日本国憲法9条と25条』改  
悪に対する運動に力を入れたい。  
皆とスクラムを組んで！

堀田美千子

今年ことしは年男ねんおとこです。10月に6  
0才になります。「飛躍する年  
にしたい」とカッコよく言いた  
いですが・・・いままで通り、  
作業さぎょうに参加して、健康けんこうに暮ら  
したいです。

善岡政信

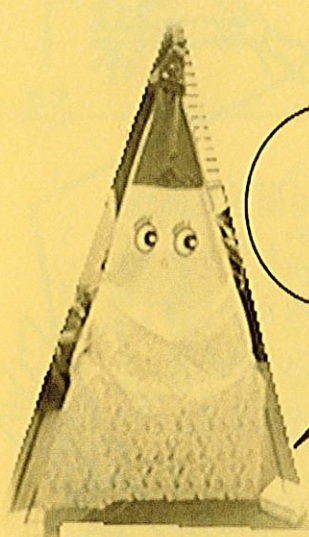
今年1年無理をせず、焦らず、  
健康に、HAPPYの仕事を  
一生懸命いっしょうけんめいにしたいです。

長年一緒に暮らしてきた幸ち  
ゃんが亡くなって寂しいです。  
仲間との交流こうりゅうを大切にしたいで  
す。 工藤英二

去年は病気が多かったので、  
今年ことしは元気に暮らしたいと思  
います。病気を良くして出かけら  
れるようにしたいです。また、  
社会の問題こけいに目を向け、志こころざしを  
持ってがんばりたいと思いま  
す。 田口尚之

み  
ん  
な  
の  
声





# 第17回 クリスマス会

12月7日(木)札幌市北区民センターにて行われました。参加者93名。

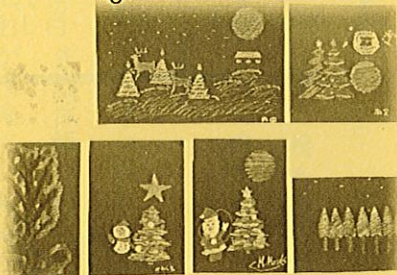
メインの企画は「理事長クイズ」と「ビンゴ大会」。クイズはテーブル対抗で、豪華景品(ふかふかバスタオル)を手に入れるため、皆で知恵を絞り一生懸命考えました。

いつもお世話になっているボランティアさんには感謝の品が贈呈されました。

ビンゴ大会  
1等は、お米5kg!  
すごいべ!!!



絵画教室作品展



はい、チーズ



初の司会!  
頑張ります♡



パワーアップ!! 『ダリアバンド』



クイズの決勝



テーブル対抗『理事長クイズ』



いつもありがとうございます  
絵画教室の吉田先生



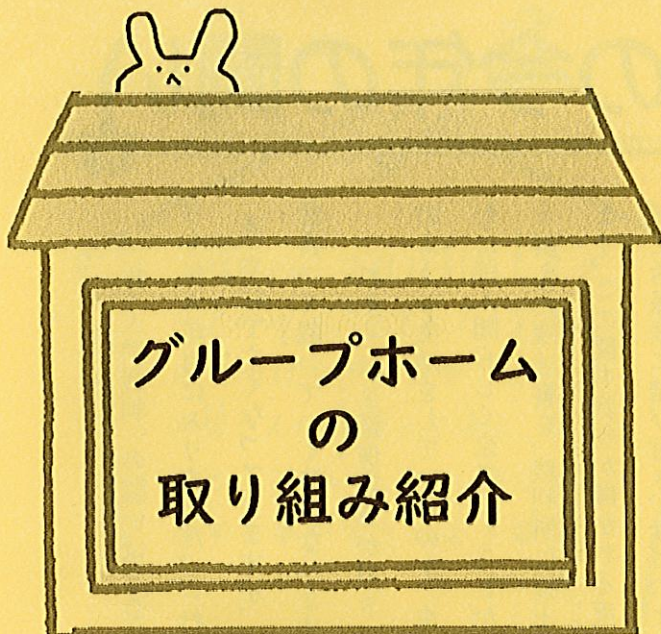
『ビンゴ大会』



『閉会あいさつ』細川専務理事







## グループホーム の 取り組み紹介

### 若根荘

トイレがつま～る事件！！

ある日、分家から元気のない声で『トイレがつままりかけている・・・』と電話があり、翌日松浦がシュポシュポ持参で出勤。その数日後、本家より『トイレがつまった』とのまさかの電話・・・。又々シュポシュポ持参で、松浦が出勤。完全に連鎖です。本家・分家ともにシュポシュポを置く事となり、トイレは溜めずにこまめに流す事を徹底しています。

(スタッフ 松浦)

### マゼル

障害程度も年齢も違う7名が、制度の変わる毎に変化する支援形態に翻弄されながら、毎日日常生活訓練や就労支援を受け、障害年金と生活保護費を儉約し、思いやりを忘れず、迷惑にならないように慎ましく、誠実に、助け合い励まし合いながら暮らせることを願っています。

(スタッフ 板谷)

### ひなた

食事スタッフの千葉さんが退職されました。「ひなた」は、千葉さんが支援する会で長く勤務された中で、最後の場となりました。古くからお付き合いのある方は勿論、新たに出会った方にも、辛いお別れとなりましたが、皆が感謝を伝えてお送りしました。

また遊びに来て欲しいと願いながら、新たに黒田さんと「ひなた」の日々を繋いでいます。  
(スタッフ 大橋)

### 結

『結』ができた当初から入居していた阿部嗣博さんが、昨年の10月に急逝されました。タバコとコーラとギターが大好きで、「いつかは好きなギターを仕事にしたい」と話していました。

四十九日を迎えた日、結の皆で嗣博さんを偲んで会食をしました。阿部さんの思い出を語りながら、悲しみから立ち直れなかったメンバーにもようやく笑顔が見られました。  
(スタッフ 藤原)

### マザーハウス ぽぷら

今年『ぽぷら』でやってみたいことは？と、皆に聞いてみました。「雪まつり見学」「グランドホテルバイキング」「芸術の森での新海誠の作品展鑑賞」「一泊旅行」「円山動物園見学」「市内観光」などなど、皆の夢は広がっています。

今年の一つでも多く、皆の希望が実現できるようにしたいと思います。

(スタッフ 織田)



# 「新・人間裁判」の今年の闘い

「新・人間裁判」の闘いは2014年11月から始まり今年4年目に入りました。これまで幾人もの原告が志半ばで亡くなっていますが、その方たちの思いも背負って闘っていく年になります。

これからは生活保護費が引き下げられたことでのような生活をしているのか、生活保護での生活はいかに「人間らしく生きる」ことが出来ていないかなどを訴えた陳述書を、裁判所に提出して行くこととなります。この間も裁判が開かれる度に、二人の原告が「なぜ生活保護に結び付き、今どのような暮らしをしているのか」という実態を述べてきましたが、これまでの「持ち物調査」や「食事の内容」なども提出することになります。

私たちは実態を裁判官に訴え、それを支えてくれる弁護士の先生たちは「現在の生活保護が如何に生存権としてのものになっていないかを理論で訴える」事にがんばって来ています。

私たち支援者は、この裁判を物心両面から支えられる年にしていきましょう。



## “新・人間裁判” 原告の思い



井上大朝さん

生活保護引き下げ反対訴訟『新・人間裁判』に参加してもう4年がたとうとしています。多くの人に助けられ、裁判を闘ってこれることができました。先行きは分かりませんが、保護費削減に苦しむ人たちの為にも、あきらめず闘い続け

たいです。メディアなどの生活保護バッシングや謂れのない偏見など、厳しい見方をする人も多い中、ここまで裁判が続けられたのは、単なる保護の引き下げだけでなく、日本の社会保障全体の引き下げにつながる危機感が有ったからです。更に引き下げを強行しようという国の態度には失望します。本当に困っている人が救われる社会を作ってもらいたいです。



高坂千秋さん

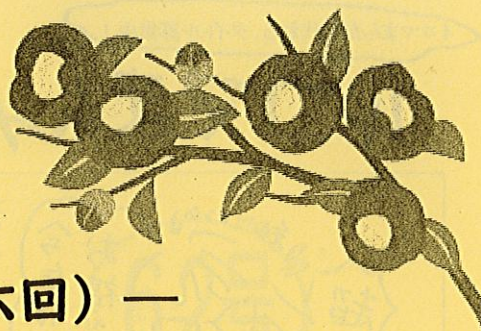
私は『新・人間裁判』の原告として12月20日に口頭意見陳述をしました。自分が裁判所で陳述する事になるとは思ってもいないことでしたので、大変貴重な体験をさせて頂きました。ただ、裁判長に自分の現状をもつ

と踏み込んで訴えたかったと少し悔やんでいます。

期末一時金、冬季加算も削減され、又来年から保護費が削減されるという政府の悪業を許すことはできません。

『健康で文化的な生活』を保障するのが国の責任です。これからも私は、この裁判の勝利を勝ち取るまで闘い続けます。





続

# 明日へつなぐ希望求めて

## — 支援する会物語 (第六回) —

細川久美子

(前号からのつづき)

白石区保護課から弁明書が届き、その弁明に  
対して反論書を提出する、それに基づいて北海  
道知事は判断するわけですが、道庁からの  
裁決書が、翌年の1997年5月23日付で届  
きました。冒頭に「審査請求人に対してなした  
生活保護廃止処分は、これを取り消す」と記さ  
れており、その採決の理由はA4,6ページにも  
及ぶものですが、その内容を要約すると「臨時  
的生活費のうち、家具什器費については、被  
保護者が転居の場合であって、新旧住宅の設備  
の相違により、最低生活に直接必要な家具  
什器費の補填しなければならない事情が認め  
られた」と言うことです。

つまり私たちの主張が、生活保護法に基づい  
て全面勝利したのです。運動とはなんと面白  
いものか、とつくづく感じさせられた審査請求  
でした。

2017年4月から行政不服審査法が改正さ  
れました。第1は不服申し立ての種類の一化  
です。旧法では不服申し立ての種類を処分庁や  
不作為庁であるか否かによって、意義申し立て  
と審査請求に区分されていましたが、原則とな  
る不服申し立てを「審査請求」に一化しまし  
た。

第2は審理員制度の導入です。審理の公正化、  
透明性を高めるために処分に参与していないな  
ど一定の要件を満たす「審理員」が審理手続きを  
行うことを法律上明確化しました。

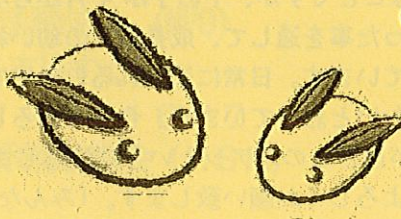
第3に行政不服審査会等への諮問手続きの  
導入です。審査請求についての採決の客観性・  
公平性を高めるために、個別の法令に基づき、  
他の第三者機関が関与する場合を除き、審査庁  
(審査請求の審理・採決を行う行政庁)が採決  
する際に、行政不服審査会などに諮問すること  
を義務付け、第三者の立場から審査庁の採決の  
判断の妥当性をチェックすることになりました。

新しい制度の下で、2016年から札幌市が  
生活保護実施要領の改定の下で行った、資産調  
査により、「老人保有金」とテレビなどの電化製  
品を買い替える費用を認め、残金を収入認定し、  
保護費から差し引く処分に対して審査請求をし  
たところですが、弁明に対する反論、それを受け  
て再弁明、さらに再々弁明が出され、口頭意見  
陳述には処分庁も同席しておこなわれました。

今までは道庁の職員がただ聞くだけというも  
のでしたが、その陳述に対して審理員から質問  
がされるなど、随分と変化したと言う思いは否  
めませんでした。

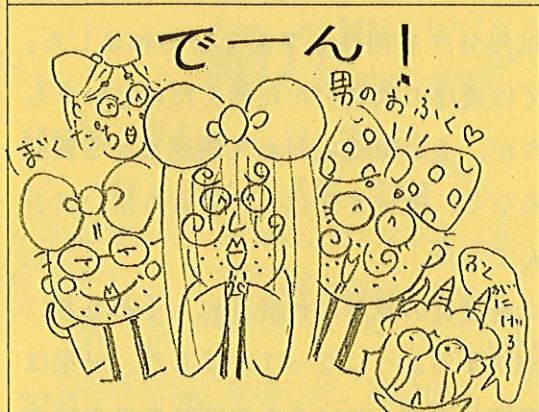
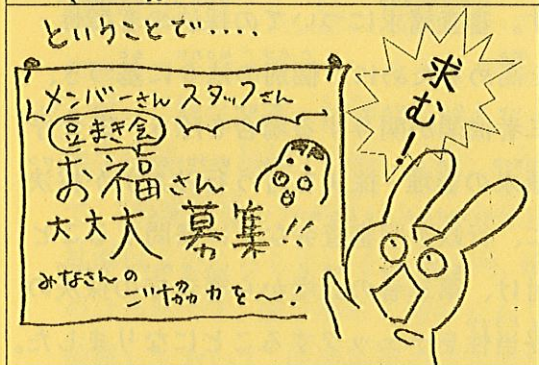
結果は審理員の見解が付託され、それを基に  
知事が採決するようになっていました。結果は  
「処分を取り消す」というもので私たちの請求  
が勝利したのです。

(次号に続く)





# 4コマまんが

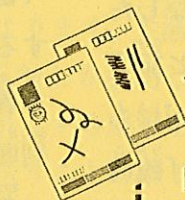


《寄付金・寄贈品》  
 当会の活動に対し、ご支援いただき  
 厚くお礼を申し上げます。

(順不同・敬称略)

2017. 10. 1~2018. 1. 20

(有)イブ、平田内科クリニック、ニチドク事務機株式会社、山崎、内山、高橋、石井、笹、若本、井上、沼山恵美子、尾下忠弘、黒滝、渡辺正興、片石松蔵、明神あつ子、工藤禮子、沼山恵美子、大西なおこ、池田道子、丹羽裕子、滝本敬則、山階雅章、小西やえ子、内田民江、宮岸真澄 文子、小島智子、山本、清原光恵、田中護



~ご協力をお願い~

『書き損じハガキ、ありませんか?』

いつもご協力いただきありがとうございます。ごぞいます。

支援する会では“書き損じハガキ”を集めています。頂いたハガキは、支援する会の財政活動に使わせて頂きます。

ご協力宜しくお願い致します。

HSK ころから

昭和48年1月13日第3種郵便物認可

発行 2018年2月10日(毎月10日発行)

HSK通巻番号551号

編集人

住所:札幌市西区八軒8条東5丁目4-18

団体名:特定非営利活動法人(NPO)精神障害者を支援する会

TEL:(011)736-1697

発行人 北海道障害者団体定期刊行物協会(HSK)

定価 50円(会費を含む)

## <編集後記>

♫ 個人的なことです。下の子が4月から小学校に入学します。長かった保育園生活ともお別れ。仲間が亡くなった事を通して、成長盛りの幼いわが子の命にも限りがあるのだと気づかされ、改めて命の尊さを感じています。日常に追われる日々ですが、いつも自分が命と向き合う仕事をしていることを忘れないでいたいと思っています。今年もよろしくお願ひいたします。(藤原)

♫ 年々一年が過ぎるのがアツという間に感じますが、去年は特に早く感じました。新しい年を迎え、今年もどうぞよろしくお願ひ致します。「みんなの声」「グループホームの取り組み」を見て、私も今年は何か達成できる目標をもてたら良いなと思ひました。まずは、おやつを減らすことかな?(笑)。(米村)